

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事業名 就学支援金事務自動化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課 私学助成係 電話番号：058-272-1111 (内 4977)

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 990 千円 (前年度予算額：1,483 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,483	0	0	0	0	0	0	0	1,483
要求額	990	0	0	0	0	0	0	0	990
決定額	990	990	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

高等学校等就学支援金でマイナンバーを利用した審査が導入されたことに伴い、毎年大量の定型作業が新たに生じ、審査に時間を要することとなった。

職員を増やすことは困難である状況の中で、事務自動化ソフトウェアロボット(RPA)の導入により業務の効率化を図ることで、審査を迅速に行い、早期に就学支援金の支給を可能にするとともに、「単純作業」、「定型作業」から「付加価値の高い作業」へのシフトとともに、長時間労働抑制等による働き方改革の推進を実行していく。

(2) 事業内容

- ・就学支援金事務自動化事業 990 千円

就学支援金の審査において実施しているマイナンバーパソコン上の定型業務に、事務自動化ソフトウェアロボット(RPA)を導入することにより、単純業務の自動化を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

有（情報システム課で実施）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	990	事務自動化ソフトウェア、シナリオ作成業務委託
合計	990	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 他県の状況

都道府県の導入状況（実証含む）

- ・事務自動化ソフト 39 団体

(2) 後年度の財政負担

事業継続中は、財政負担となる。

(3) 事業主体及びその妥当性

私学振興・青少年課の事務効率化に資する経費であり、県が実施すべきもの

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

業務量は増加するものの、職員を増やすことは困難である状況の中で、「単純作業」、「定型作業」から「付加価値の高い作業」へのシフトを目指すとともに、事務事業の効率化、長時間労働の抑制等働き方改革を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

実証段階であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	働き方改革、業務効率化のツールとして導入を検討するため、必要である。
3	
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	一定の業務時間削減効果が見込まれる。
2	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	人的作業を事務自動化ソフトを利用することで減らし、業務の効率化を大きく図るものである。
2	

(今後の課題)

<p>RPAについては、制度改正等に合わせて、随時プログラム修正が必要不可欠である。実証段階においては、審査結果の正確性を担保するために、人的審査を併用して審査する体制の維持が必要</p>

(次年度の方向性)

<p>導入するうえでの課題を整理し、さらなる事務改善にも展開することを検討していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	